

小施策評価シート (平成 28 年度実績評価)

施策コード	26	施策名	都市基盤施設の維持・強化	
小施策コード	26-3	小施策名	都市公園の整備と利用促進	
小施策 主管課等コード	092000	小施策 主管課等名	公園みどり課	
評価責任者名	佐竹 克也		内線番号	7260
評価シート作成者名	森 勝利		内線番号	7261

Step 1 施策目標の達成状況

まちづくり指標	目指す 方向	単位	25年度 実績 (当初値)	27年度 実績	28年度 実績	31年度 目標値	36年度 目標値
市道改良率*	↑	%	73.9	74.4	74.6	74.8	75.7
まちづくり評価アンケート調査「公園や街路樹などの街の中の緑が多いと思う」と答えた市民の割合	↑	%	74.2	74.7	78.1	80.0	80.0
水道管路の耐震化率	↑	%	23.3	24.9	25.5	29.6	34.6
汚水処理人口普及率（処理区域内人口/行政区域内人口）	↑	%	95.0	95.2	95.3	96.0	97.8
面的整備による生活環境整備率（整備済路線延長/整備計画路線延長）	↑	%	29.0	30.5	31.7	63.0	97.0

（↑：数値を上げていくことを目標とする指標， ↓：数値を下げていくことを目標とする指標， →：数値を維持することを目標とする指標）

* 28年度に新しく追加した指標。

Step 2 小施策の全体像

小施策の概要等（構成事業は別紙ロジックモデルシートのとおり）

対象（誰（何）を対象として行うのか）	意図（対象をどのようにしたいのか）
市街地, その他の市域, 市民・民間事業者	憩いや安らぎ, 交流の場としての公園の整備や活用が図られる。
現状と課題	快適で住み良い都市環境形成のため, 都市公園や緑地等の整備を推進し, 盛岡の緑に対する市民意識の高揚や公園等の利活用の向上に努める必要がある。特に盛岡城跡公園については, 公園と史跡の整備やイベントの開催などにより内外に魅力を発進し, お城を中心とした賑わいのあるまちづくりを進める必要がある。
取組の方向性	憩いや安らぎ, 交流の場として, また, 災害時の避難場所として公園整備を推進するとともに, 利用の促進を図る。

Step 3 小施策指標の推移

小施策の指標	目指す方向	単位	25年度実績 (当初値)	27年度実績	28年度実績	31年度目標値	36年度目標値
一人当たりの公園面積	↑	m ² /人	11.3	11.6	11.6	12.0	12.0
公園等の利用件数	↑	件	156	211	242	200	250

(↑: 数値を上げていくことを目標とする指標, ↓: 数値を下げっていくことを目標とする指標, →: 数値を維持することを目標とする指標)

Step 4 市民ニーズの把握

遊具更新等の問い合わせや, 公園管理等に関する要望が上がっているほか, 公園愛護会の総会等でも, 公園の整備と維持管理について, 関心が寄せられている。

また, 憩いや安らぎ, 交流の場としての公園整備が求められている。

Step 5 役割分担分析

1 各主体の役割の状況

		役割の内容	役割分担比率 (%)
各主体の役割の状況	市	広く市民の利用に供する総合公園などの大規模公園や、地域住民が利用する街区公園などの整備を推進しながら、緑を創出し、その保全に努めるとともに、盛岡の緑に対する市民意識の高揚に努める必要があり、管理者である市が主体的に取り組まなければならない。	80
	国・県・他自治体		0
	市民・NPO	地域住民が利用する身近な公園は、地域住民が自ら維持管理することを基本として、地域のコミュニティ活動の一環として取り組む必要がある。また、地域住民の意識やコミュニティ活動の成熟度合いに応じて、グラウンドワークによる整備、アダプト制度の活用等により、未開設公園の整備、老朽化した公園の再整備に努める。	10
	企業・その他	各種事業所は、地域に根ざした社会貢献活動の一環として、身近な公園等の維持管理や再整備などに積極的に参画し、寄与する。	10

2 今後の市の役割の比重の方向性とその理由

- 市の役割の比重を拡大していくことを検討する
- 現状維持（現在の市の役割の比重を維持する）
- 市の役割の比重を縮小していくことを検討する

（理由）

地域住民が利用する身近な公園については、自分たちの公園という意識を持ってもらい、その管理を自主的に行なってもらうことを念頭に公園整備を実施している。

また、総合公園等の大規模公園については、指定管理を行なっているが、今後は利活用の促進を図り、企業等と協力し維持管理を含めた再整備の手法を模索していくこととしているため。

Step 6 前年度に分析した課題・改革改善案に対するアクション

1 平成28年度に分析した問題点・課題に対する改革改善案

公民連携による公園整備や利活用を推進する。

2 1の改革改善案の実施状況

(A：着手済, B：平成29年度に着手(予定含む), C：未着手または見送り)

改革改善案	具体的な取組(予定)内容	状況
公民連携による公園整備や利活用の推進	公園活性化プランの募集	A

3 2で挙げた取組状況がCの場合、その原因

Step 7 成果・問題点の把握

1 成果の把握と要因分析及び課題の設定

(1) 小施策の中で成果をあげた点

本市の核となる大規模な公園における利用者が増加した。

(2) 成果をあげた要因

- ・ 大規模な公園の整備を進めたことによる。
- ・ 公園活性化交流広場の開催によりイベントの開催を促したことによる。

(3) さらなる成果向上に向けた課題(課題がある場合に記載)

憩いや安らぎ、交流の場として利用の促進を図るため、公園整備を促進すると共に、様々なイベント等を開催し利用者の増加に取り組む。

2 問題点の把握と原因分析及び課題の設定

(1) 小施策における現状の問題点

魅力のある公園が少なく、公園の利活用に影響している。

(2) 現状の問題点が生じている原因

市民ニーズが多様化し、公園を積極的に利活用しようとする市民が少ない。

(3) 分析した原因の解決に向けた課題

維持管理や利活用に配慮した公園整備と、魅力あるイベント等を開催することにより市民意識の高揚を図る。

Step 8 小施策と構成事業の関係性

- 1 小施策との結び付きが弱い、もしくは他の事業と重複していると考えられる事業
該当事業なし。
- 2 1で記載した事業についてその理由
- 3 1で記載した事業の今後の方向性（案）（縮小・廃止・統廃合等）

Step 9 Step7, 8を踏まえた改革改善案

予算の確保及び公民連携による公園整備や公園活性化プランを共催し、公園の魅力向上を図る。